

理事 MAIL**東日本大震災復興支援****「子どもの笑顔元気プロジェクト」からお礼と報告が届きました。**

昨年の東日本大震災の後、会で行ったチャリティイベント等で集まった寄付金は、直接子どもたちの笑顔を作る活動に使ってほしいと思い、仙台で活躍する「子どもの笑顔元気プロジェクト」へ送りました。自らも被災者でありながら、地元で活動しているNPOだからできる細やかな支援を展開してきた、同プロジェクトから、活動の報告が送られてきました。

**「子どもの笑顔元気プロジェクト」
に届いた支援金及び支援物資**

- ◆支援金総額 (2/1 現在)
226件 19,737,732円
- ◆物資総数 (2/1 現在)
211件 1598箱

ー昨年親子コンサートでお呼びした、あきらちゃん、らーめんちゃんが所属する「プランニング開」・「アトリエ自遊楽校」・「NPO みやぎ・せんだいこどもの丘」は、震災後、被災地の子どもたちに何が出来るかを考え、子どもの現場に関わる人たちが、被災した子どもの現場を支えるため、
① 物資支援協力 ② 支援金協力 ③ 被災地、避難所でのコンサートや人形劇公演 という3つの柱で活動していくことを決め、3月15日には、早速プロジェクトを立ち上げました。

物資支援では、日ごろからつながっている全国のネットワークに呼びかけ、今これが必要というものを集め、直接現場に届ける活動を続けました。3月26日には、神奈川県の子育て支援センターから「バスをリニューアルするので」との申し出があり、同じタイプのバスが流されてしまった気仙沼の幼稚園へ届けることができました。また、被災した幼稚園、保育園、児童館などを中心に、精力的にコンサートや人形劇を届けました。子どもが笑顔になることで大人も笑顔になる。笑顔が復興へのスタートとなっていきました。



あきらちゃんが創った復興メッセージソング「明けない夜はないから」を被災地から元気を届けたいと、津波で壊滅的な被害を受けた名取市の小中学生が合唱、ユーチューブで全国に発信しました。9月には、子どもの参画で復興をと、「子ども未来人サミット」を開催。岩手、宮城、福島の中高生が避難所などでの活動報告と同時に、若者たちがこれからのまちをつくっていくための討論の場を作りました。

他にも、子どもたちによるミュージカル「明けない夜はないから」を、名取市や気仙沼にある大島で上演。「よみがえれ！子どもの笑顔・元気展」と題した絵本カーニバルには、毎日多くの子どもたちが来場・25名もの絵本作家の協力を得てチャリティオークションや、トークショーも開催しました。

まだまだ復興はこれから。4月には、「子どもの参画で復興を考える」をテーマに「こども環境学会」の大会が仙台で開催されます。常に子どもを真ん中に考えた支援を続けているこのプロジェクトの活動を今後も注目しながら、私たちができる支援も続けていきたいと思っています。